安全・安心な環境の実現を

明知下区防犯パトロール隊発足式

区民自ら地域犯罪を防止し、安心して生活できる環境をつくろうと4月21日、明知下区防犯パトロール隊発足式が明知下公民館で行われました。76人の隊員はすべてボランティア。区内を歩く際にパトロール用のベストや帽子を着用し、犯罪の抑止に努めます。発足式では伊藤稔（みのる）隊長が「区民が主役となり、互いに連携して安全で犯罪のない住みよい区をつくろう」と力強く防犯宣言をし、早速パトロールに出発しました。

毎年必ず受けましょう

狂犬病予防注射

平成17年度の狂犬病予防注射が4月11日から18日まで、町内の公民館や児童館など20カ所で行われました。14日には黒笹公民館で、西三河開業獣医師連絡協議会から派遣された2人の獣医師が、45頭に予防注射の接種を実施。狂犬病の発症に備えました。世界中で狂犬病がまん延していない国は、日本を含めわずかしかありません。狂犬病は、発症すれば人も犬も100％死に至る恐ろしい病気です。毎年必ず予防接種を受けましょう。

スポーツで仲間づくり、地域づくり

総合型地域スポーツクラブ「なかよしクラブ」総会

スポーツを通して青少年の健全育成・地域住民の生涯スポーツの推進を図ろうと昨年6月に発足した、総合型地域スポーツクラブ「なかよしクラブ」。その平成17年度総会が4月15日、保田ケ池センターで開かれ、役員など70人が出席しました。塚本隆敏（たかとし）会長は「発足以降の活動について会員から良い評価をいただいている。今後もっと交流の輪を広げたい」と話しました。入会希望者は、なかよしクラブ事務局（☎(32)8027）まで。

2年に一度の大事な点検

はかりの定期検査

商売などの取り引きや証明のために使用するはかりなどは、正確性を維持するため計量法により定期検査が義務付けられています。その2年に一度の定期検査が4月19日、中央公民館で行われました。愛知県計量連合会の3人の計量士が検査を実施。事業主など50人がはかりを持ち込み、検査を受けました。ぶどう園を営む女性は「商売で使う大切なはかりなので」と検査に合格してほっとした表情を見せていました。

古着が素敵なバスマットに変身

リサイクル教室

古着をリフォームしてキルトのバスマットを作るリサイクル教室が4月15日、尾三衛生組合エコサイクルプラザで行われました。教室には三好町、日進市、東郷町から23人が参加。講師の中島安子（やすこ）さんの指導により、思い思いに持ち寄った色とりどりの古着を台紙に縫いつけて、オリジナルのバスマットを作りました。参加者の一人は「バスマットとして使って、古くなったら愛犬の敷物として使います」と話していました。

乳歯をむし歯から守ろう

むし歯予防教室

乳歯のむし歯予防について知識を深めてもらおうと4月18日、むし歯予防教室が保健センターで行われました。1歳児とその保護者16組が参加したこの教室。歯科衛生士から子どもの歯磨き習慣の大切さと健康について説明を受けた後、子どもの歯磨き方法について指導を受けました。明知上の松山幸子（さちこ）さんは「子どもに甘いものをあげるときは、気を付けてあげないといけないと思いました」と気を引き締めていました。